

富山・岐阜の150人 下草刈りに汗

高山「源流の森づくり」

「飛越源流の森づくり」は8日、岐阜県高山市清見町の山林で行われた。青空の下、富山、岐阜の両県の森林ボランティアや地元住民が下草刈りなどに汗を流した。

神通川の上下流域の住民が協力して森林整備に取り組むと、NPO法人ドングリの会（本部・高山市清見町、稲本正会長）が2010年から毎年実施している。富山県内からの80人を含む150人が参加した。

草刈り作業の後、神通川の源流をたどるツアーや、丸太の解体ショー、木登りなどを楽しみ、自然を満喫した。



下草刈りに取り組む参加者

岐阜県高山市清見町の山林